

第3回 港湾におけるICT導入検討委員会 議事概要

日時：平成29年3月6日（月） 14：00～16：00

場所：国土交通省 合同庁舎2号館 地下1階 第2会議室A

1. 主な議事

○事務局より、港湾におけるICTの新基準（浚渫工編）の整備等について説明をした後、委員による意見交換を行った。

2. 主な意見

○浚渫工の深淺測量におけるマルチビームの取得点密度については、試行工事であるということも含めて、新基準（案）では0.5m平面格子内に3個以上の確保を基本として進めていく。

○0.5m平面格子内に3個あれば海図補正には問題ないと認識しているので試行工事の結果を見ながら検討を進めていく。

○今回提示の新基準（案）について、本委員会終了後に再度、意見照会をお願いしたい。また、来年度の試行工事の実施後には、その結果を踏まえての精査・検証を行い、新基準（案）を改定していくことが必要。

○来年度の試行工事では、コストの比較検討や施工時の課題抽出などに加えて、浚渫工事全体としての生産性向上という観点からも検討すべき。

○来年度の検討では、3次元データの活用を浚渫工から基礎工、本体工等へと展開していく一方で、将来の維持管理や災害時を想定した設計・施工時の事前措置など、測量から維持管理に至る各プロセスをどの様に繋げていくのかを示すことも必要。

○今後の展開について、試行工事における作成書類の軽減や作業日数の縮小などの分析を通じて、先行投資や技術開発のインセンティブになるような具体的なメリットをもう少し打ち出していくべき。

以上